



写真左側の1番後方にいる方が小清水さん

このたび、島歌神社祭典にあわせ、恵庭市の小清水幸一さん（タクシー会社社長）より子ども神輿が寄贈されました。

小清水さんは、南西沖地震発生の際、前日まで自分の船で島歌に滞在しながら、釣りをしていたのですが、偶然、地震の前日に急用が入り、島歌から小樽へと戻ったことで被害を免れました。

それから、被害に遭わなかったのは島歌神社のご利益のおかげという小清水さんは、毎年、島歌神社祭典の際には島歌を訪れ、島歌神社へ供物や寄付をされているということです。

そして、今回は祭典にあわせて子ども神輿を寄贈され、子どもたちも思わぬプレゼントに大喜びで、お祭りでは町内を元気に練り歩いておりました。



元気に町内を練り歩く子どもたち

編集後記

▼表紙の写真は、三本杉海水浴場開きの一コマ。この日は結構波がありましたが、果敢に波に向かっていく子どもの表情がなんともいえませんでした…。当日は、心配されていた天気も大丈夫でしたので、たくさんのお客さんで賑わっていました。▼今月号は、いたるところに「瀬棚海上保安署」の皆さんが登場しております。本格的なレジャーシーズンを迎え、少しでも海の事故を減らそうと、さまざまな場面で署員皆さんが精力的に活動をされています。そのため、子どもたちや町の皆さんともすっかり顔なじみになったのではないのでしょうか？どちらにしても、レジャーの際は事故に十分気をつけて楽しい思い出をつくってください！▼いや～暑いですね。こんなに暑い夏も何年ぶりでしょうか？毎日、毎日汗だくで痩せてしまいそうですが、それに比例してビールの消費量が増えているので、いらぬ心配のようです…。(尾)